

編 集 後 記

今冬は私が富山に赴任してから最大の積雪となりました。毎日の雪かき作業で背筋と上腕二頭筋が少し鍛えられたような気がします。例年よりも気温が低いためか、雪質が軽い（新雪の密度はおよそ 0.06 g/cm^3 だそうです）のがせめものの救いでしたが、道の両側に積み上げられた雪は私の身長を超えました。数日後、道幅を広げようと試みましたが、積み上がった雪は下層にいくほど重く固い氷に変わっており、プラスチックのスcoopでは全く歯が立ちません。雪の密度勾配に翻弄されました。

本年も無事、富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧を皆様にお届けすることができました。刊行にあたり、ご協力下さいました各講座・研究室の担当者様、編集委員の田村了以先生、西条寿夫先生、笹野一洋先生、黒田敏先生、東田道久先生、そして医薬学図書館の市吉郁代様、内藤綾子様、貴村好隆様に深く御礼申し上げます。

キャンパス研究活動一覧も今回で第41輯を数えます。一粒一粒の成果の結晶が積層されてきました。これらは、強固な土台として杉谷キャンパスの現在と未来を支えています。諸先輩方が積み上げてこられたこの数字の重みを改めて感じています。

昨今、国からの予算に反比例して、研究機関に対する社会の要請は増加しており、研究者を取り巻く環境は厳しい冬を迎えています。その中で、大学、キャンパス、各講座・研究室の価値を高めるためには、今後も絶え間なく、「成果」という名の雪を降り積もらせるよりほかありません。

編集委員長 中野 実